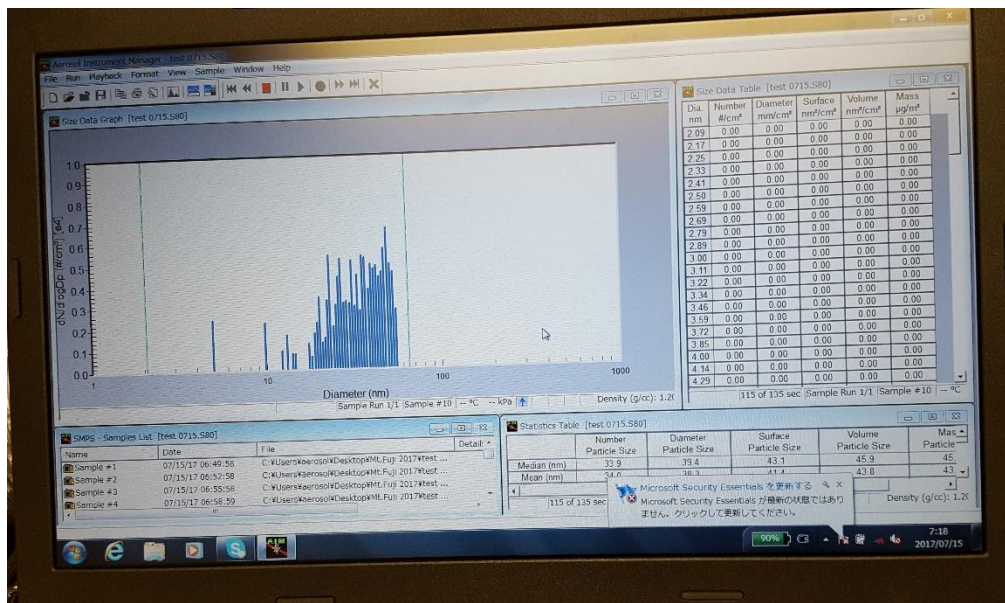
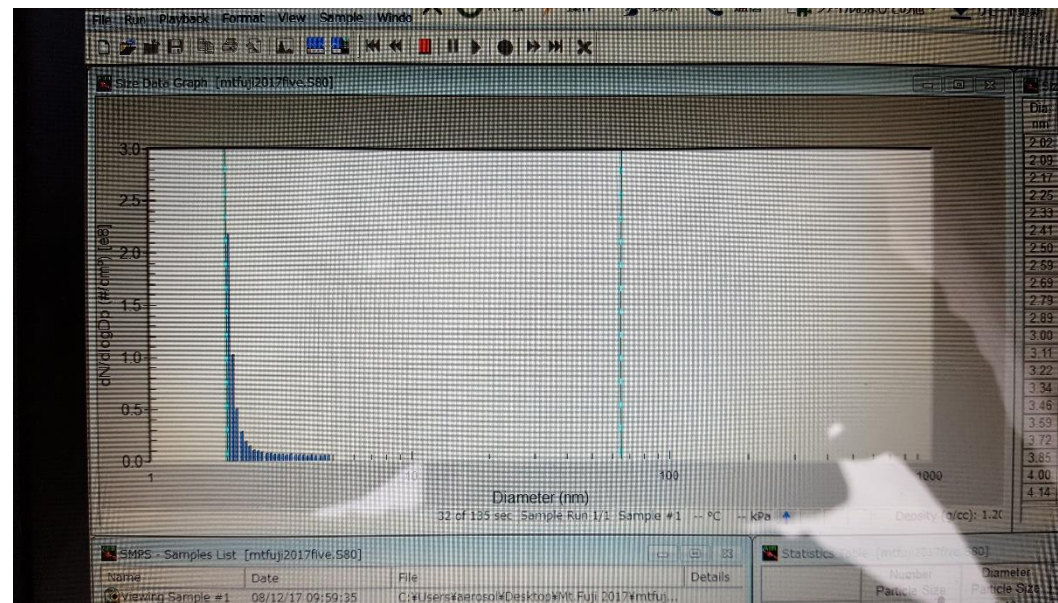


落雷時の実験装置(Nano SMPS)
復旧マニュアル

金沢大学



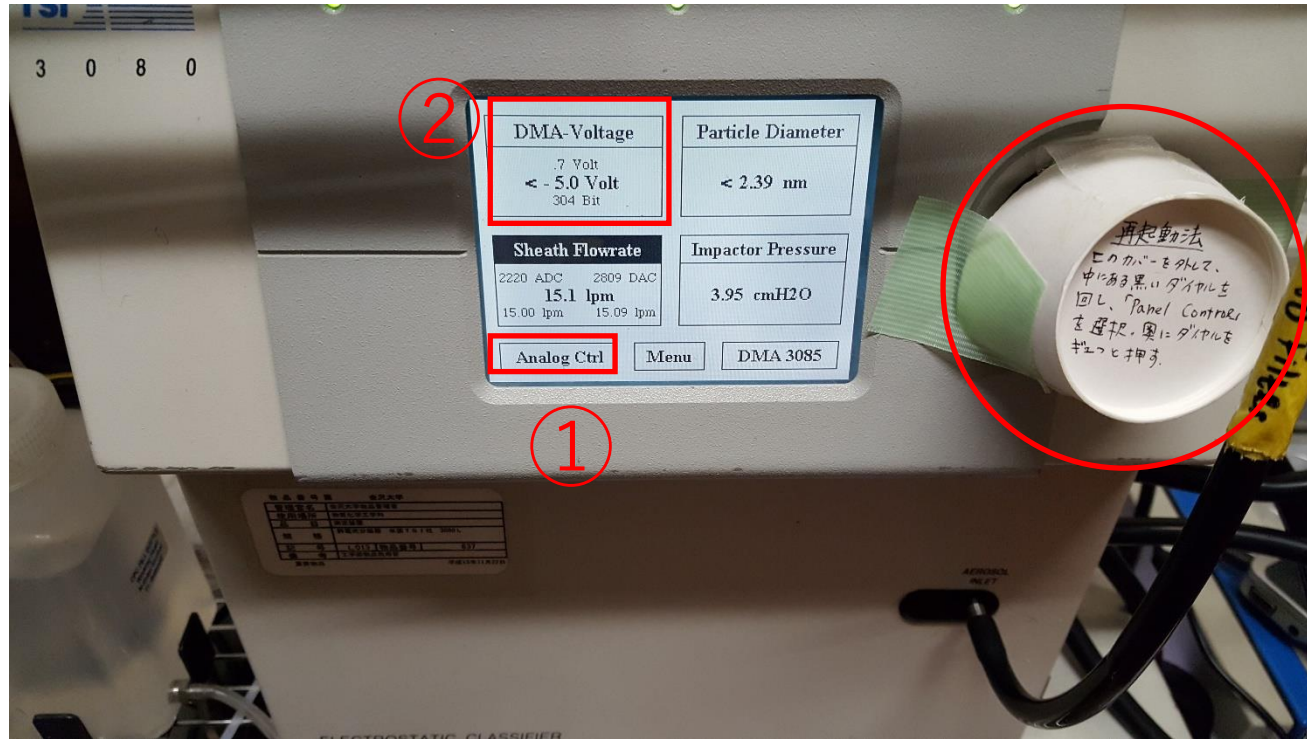
通常時のパソコンの画面



電源復旧後のパソコンの画面

電源復旧後は放電を起こし小さい粒径側の濃度が多くなり、このときは通常時の濃度の数倍になるため放電をさせない必要あり。

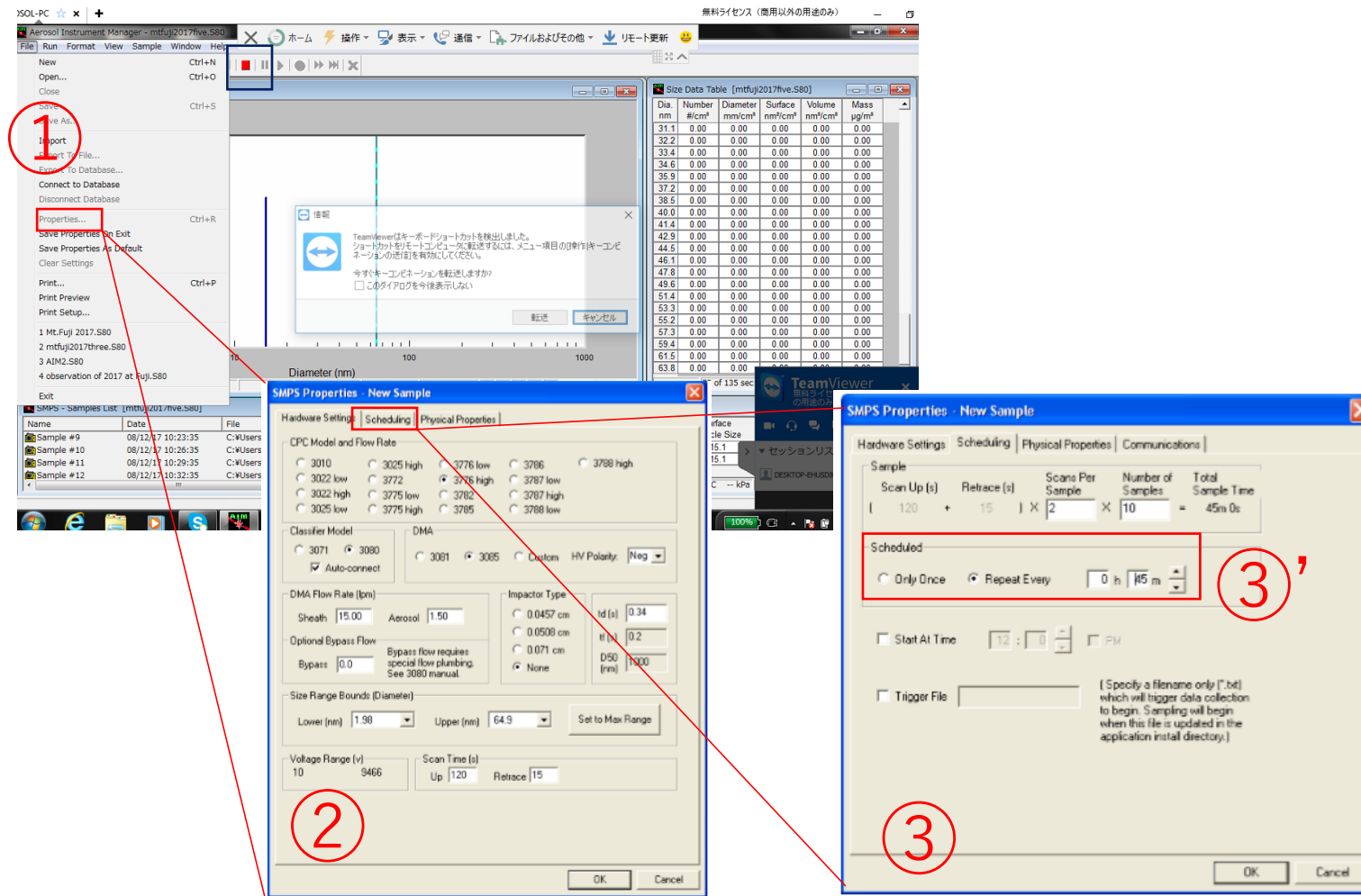
復旧法



この装置はカップの下に隠している黒いダイヤルを回して操作します。

- 左の写真のかぶせてあるカップを外す。
→カップの下には黒いダイヤルがあります。
→まずAnalog Control (①) のところにダイヤルを回して合わせてダイヤルを押す。すると①の表示がPanel Control に変わります。
→次にダイヤルを回してDMA Voltage (②) に合わせてダイヤルを押します。
→そして電圧を0Vにします。
→1分ほどしたら次は再度①にダイヤルを合わせ、押してPanel Controlを押してください。

ソフトの再起動（ネット環境下では研究室からリモートで復旧します。）



AIM (Aerosol Instrument Manager) を起動する → File から Properties を選択 (図①) → 図② の画面で CPC model: 3776high, Classifier model: 3080, DMA: 3085, DMA flow rate: Sheath= 15lpm Aerosol=1.5, td: 0.39 になっていることを確認。なっていないかったら設定してください。 → 次に②の画面から Scheduling をクリックして図③の画面にする。 → 図③の Scheduled (図③') 中の Repeat every にチェックを入れて 3min にする。 → OK を押して図①中の青四角内のボタンを押して終了。